

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画 書  
伊賀市中心市街地のにぎわいの再生  
(第7回変更)

平成27年9月1日

三重県伊賀市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成27年9月1日

計画の名称	1 伊賀市中心市街地のにぎわいの再生														
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）					交付対象	伊賀市								
計画の目標	<p>上野城の城下町として地域経済、文化の中核として発展してきた中心市街地において地域商店街の衰退、少子高齢化による活力の低下が著しいことから、伊賀市中心市街地活性化基本計画に基づき、行政と地元が一体となってにぎわいの創出を推進している。</p> <p>生涯学習センター、子育て支援センター整備により利便性の向上で地域住民の市街地への回帰を促し、街なみ環境整備事業による歴史的な街並みの保全、中心市街地への玄関口となる伊賀鉄道上野市駅前周辺の道路環境、駅前広場の整備を行うことで来街者の増加と城下町の回遊性の向上を図るため中心市街地活性化の基盤づくりを推進していく。</p>														
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の整備等に関する満足度を15%から18%に（3%）増加</li> <li>中心市街地における歩行者通行者数を2,462人/日から3,819人/日に（1,357人/日）増加</li> <li>中心市街地の観光施設年間入込み客数を416,258人/年から423,220人/年に（6,962人/年）増加</li> </ul>														
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考					
							当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)						
	伊賀市総合計画に基づく「まちづくりアンケート」における設問「まちなかが整然としつつも、にぎわいを生んでいる。」に対する市民の満足度・不満足度を測定。						15%	17%	18%						
	中心市街地における商業重点軸（本町通り、再開発ビル周辺）4地点における歩行者通行者数を測定する。						2,462人/日	3,366人/日	3,819人/日						
	中心市街地にある観光施設（11施設）の入込み客数を測定する。						416,258人/年	416,300人/年	423,220人/年						
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,090.0百万円	A	1,463.8百万円 (内提案事業 11.2百万円)	B	619.5百万円	C	6.7百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.9%					
<b>交付対象事業</b>															
<b>A1 基幹事業</b>															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	都市再生	一般	伊賀市	直/間	伊賀市・地域住民	うえのまち地区都市再生整備計画事業	高次都市施設、街なみ環境整備事業等 約140ha	伊賀市						1,463.8	
合計													1,463.8		
<b>B 関連社会資本整備事業</b>															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-B-1	道路	一般	伊賀市	直接	伊賀市	市道三之町線道路整備事業	L=112m	伊賀市						21.5	
1-B-2	道路	一般	伊賀市	直接	伊賀市	(都)上野丸之内駅前広場線整備事業	L=100m (改築、無電柱化) A=4,560㎡ (駅前広場)	伊賀市						498.0	街路
1-B-3	道路	一般	三重県	直接	伊賀市	(都)伊賀上野橋新都心線整備事業	L=126m (改築、無電柱化)	伊賀市						100.0	街路
合計													619.5		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-B-1	都市再生整備計画区域内の道路美装化事業の施行箇所を延長することで城下町景観の統一を図り、回遊性を向上させる。														
1-B-2	中心市街地への玄関口における駅前広場や道路環境の整備をすることでまちなかへのアクセス性を高め、来街者の増加と回遊性の向上を図る。														
1-B-3	中心市街地への玄関口における道路環境の整備をすることでまちなかへのアクセス性を高め、来街者の増加と回遊性の向上を図る。														
<b>C 効果促進事業</b>															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1		一般	伊賀市	直	伊賀市	伊賀市景観計画修正及び公共サイン計画策定	景観計画の見直し 公共サイン計画の策定	伊賀市						6.7	
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-C-1	景観計画を修正し、公共サイン計画を策定することで、まち全体の統一感・一体感を持たせ、市民のまちづくりに対する気運の向上、来街者の増加を図る。														

(参考図面) 市街地整備

